

天の川銀河周辺物質とハロー内宇宙線の多波長・マルチメッセンジャー

探査

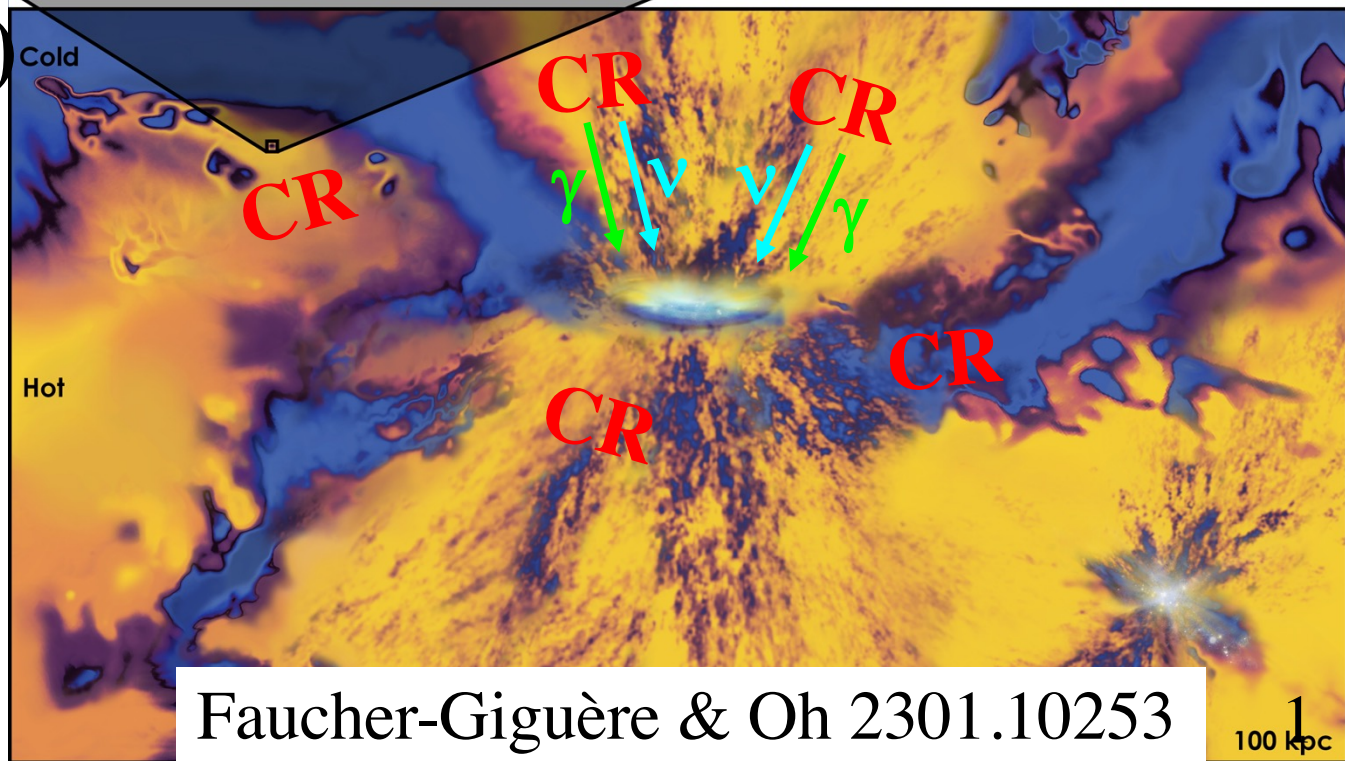
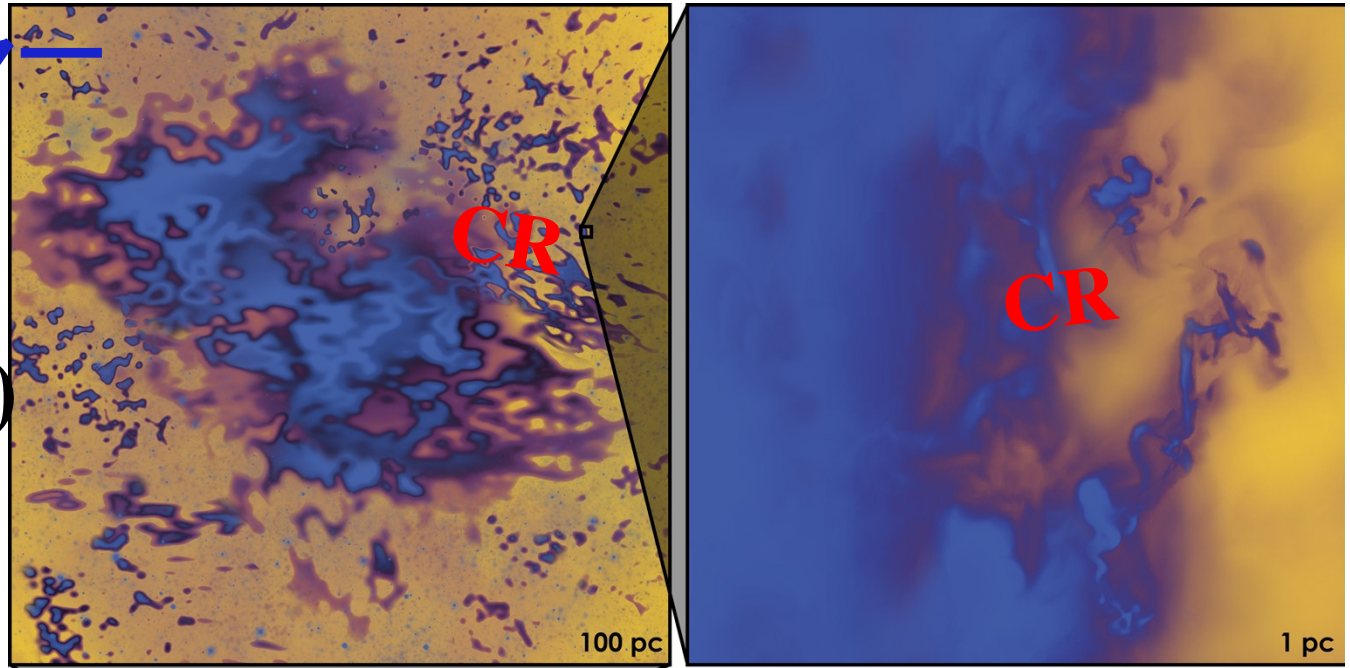
井上進 (都立大)

辻直美 (神奈川大)

川田和正 (ICRR)

水野恒史 (広大)

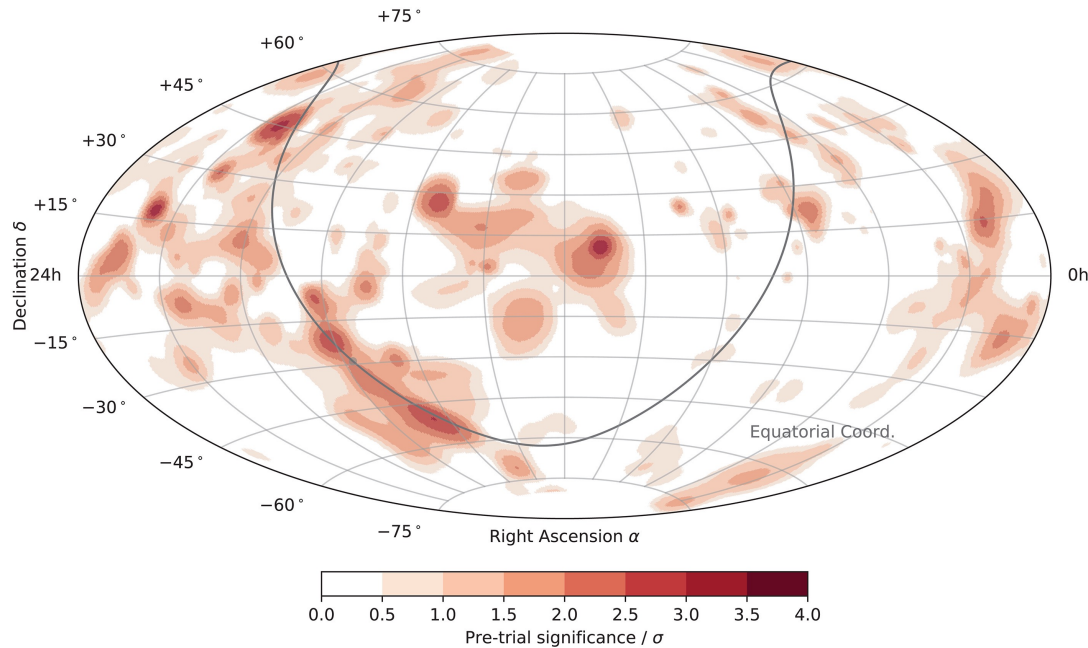
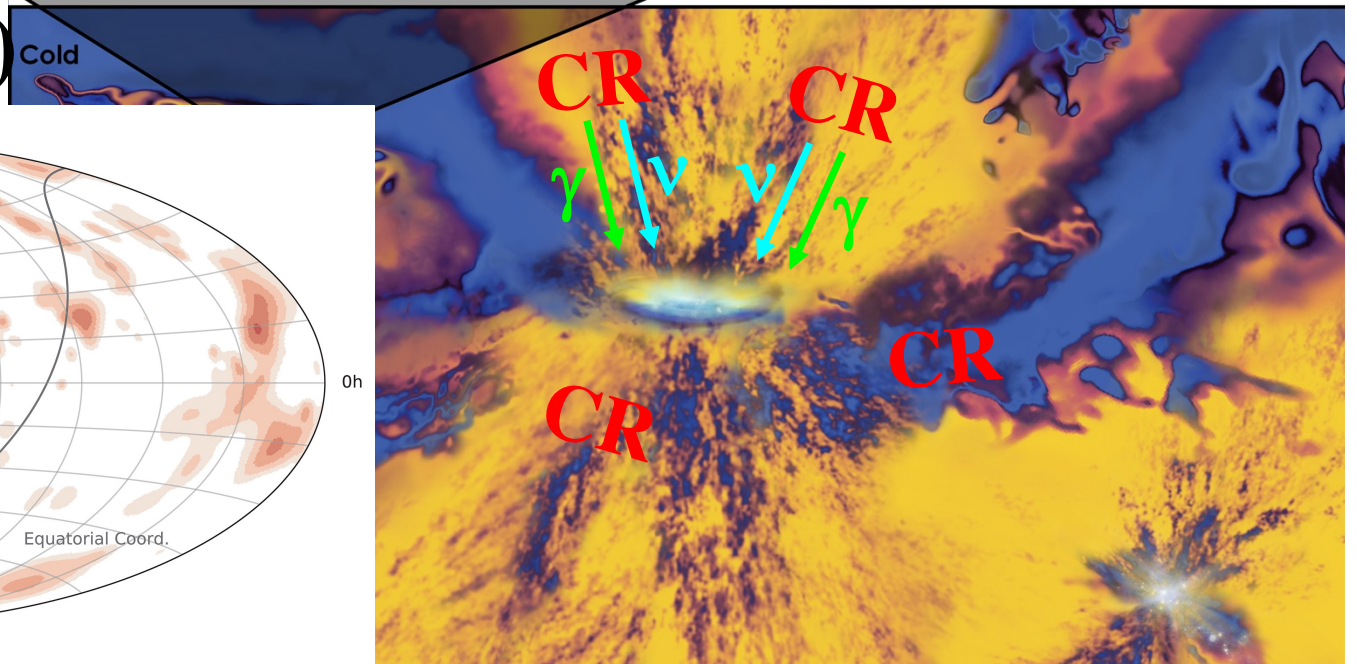
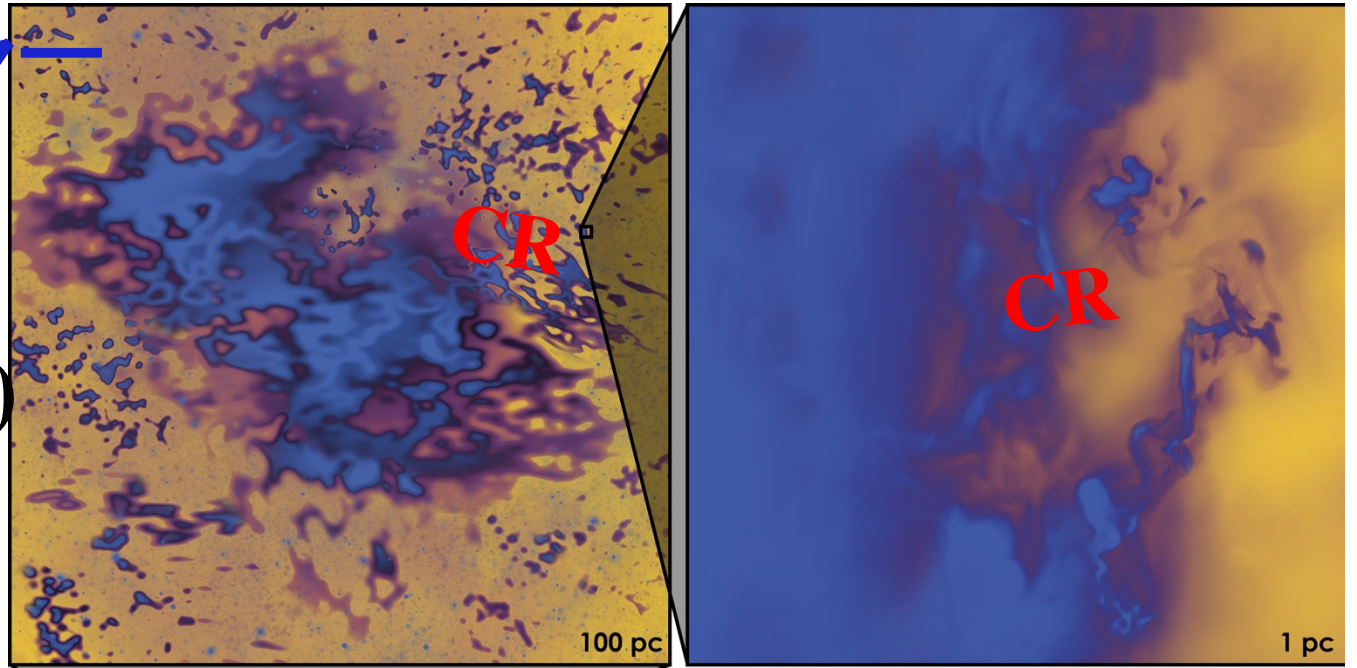
長島雅裕 (文教大)



天の川銀河周辺物質とハロー内宇宙線の多波長・マルチメッセンジャー

探査

井上進 (都立大)
辻直美 (神奈川大)
川田和正 (ICRR)
水野恒史 (広大)
長島雅裕 (文教大)



er-Giguère & Oh 2301.10253

まとめ: 天の川銀河CGM+CRのMM探査

- 天の川銀河の進化にとって銀河周辺物質(CGM)および宇宙線は重要な役割を担っているはずだが現在不定性大. 観測・理論双方の進展が望まれる. CGMについては今後の高感度X線、FRB dispersion measure観測が重要.
- PeV γ 線による探査はCMB $\gamma\gamma$ 吸収のおかげで有利. Tibet高銀緯イベントとHVCと相関の兆候? 現時点では統計的に有意ではないが、ハロー内のPeV宇宙線に対し、意味のある上限. 現在LHAASOのデータを調査中.
- 100 kpc領域での宇宙線、LMC/SMC起源宇宙線を調べるにはMagellanic Streamの探査が必要. 将来の南天からのPeV γ 観測(Mega-ALPACA, SWGO)前は、ニュートリノによる制限も重要. IceCubeのtemplate探査、将来のIC-Gen2, KM3NeTにも期待.